



2021年7月14日

各位

会社名 バリュエンスホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 寄本 晋輔
 (コード番号：9270 東証マザーズ)
 問合せ先 取締役 CFO 佐藤 慎一郎
 (TEL. 03-4580-9983)

法人税等調整額（益）の計上並びに通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年8月期第3四半期連結累計期間において、法人税等調整額（益）の計上をするとともに、最近の業績動向を踏まえ、2020年10月15日に公表しておりました2021年8月期の連結業績予想及び配当予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 法人税等調整額（益）の計上について

2021年8月期第3四半期連結会計期間に、当社連結子会社である株式会社 NEO-STANDARD を同じく当社連結子会社であるバリュエンスジャパン株式会社が吸収合併したことにより株式会社 NEO-STANDARD の繰越欠損金に係る繰延税金資産が増加し、これに関する法人税等調整額（益）318百万円を計上いたしました。

2. 連結業績予想の修正について

(1) 連結業績予想数値の修正（2020年9月1日～2021年8月31日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	58,000	2,500	2,450	1,500	115.46
今回修正予想 (B)	52,700	1,000	800	750	56.73
増減額 (B-A)	△5,300	△1,500	△1,650	△750	
増減率 (%)	△9.1%	△60.0%	△67.3%	△50.0%	
(参考) 前期連結実績 (2020年8月期)	37,932	631	622	305	23.53

(2) 修正の理由

2020年10月15日発表の2021年8月期通期予想の策定時においては、新型コロナウイルスの影響を見込んでいたものの、度重なる緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発令及び長期化は想定しておりませんでした。また、CM放映による集客効果やM&A及び出店効果等により、第3四半期以降に売上高・利益を大きく伸ばさせる計画でした。

第2四半期までに、M&A及び新規出店による買取店舗の拡充や倉庫移転の実施など成長に向けた準備が整い、これらを経て第3四半期に売上高・利益を急拡大するため、4月9日よりCM放映を予定どおり実施いた

しました。しかしながら、4月25日に3回目の緊急事態宣言が発令され、最大で19店舗が休業となるなど買取環境としては厳しい状況となりました。この影響により、仕入が当初想定していた水準に届かず、2021年8月期の売上高が当初予想を下回る見込みとなりました。また、将来の成長に向けた先行投資は計画どおり継続しており、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、当初予想を下回る見込みとなりました。このような状況を受け、通期の連結業績予想の数値を上記のとおり修正しております。

一方で、緊急事態宣言等の影響により、前回発表予想に対しては未達の見通しとなったものの、第3四半期においては、同様に緊急事態宣言下であった前年同期と比較するとその影響は限定的であり売上高・利益ともに回復基調となっております。

3. 配当予想の修正について

(1) 修正の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2020年10月15日)		35円00銭	35円00銭
今回修正予想		25円00銭	25円00銭
当期実績	0円00銭		
前期実績 (2020年8月期)	0円00銭	25円00銭	25円00銭

(2) 修正の理由

当社は、長期継続的な企業価値向上が株主の利益への貢献であるとの認識のもと、事業計画に基づく再投資に意を用いつつ、株主に対して安定的な配当を実施していくことを基本方針とし、配当性向30%以上を目標としております。当期につきましては、業績の動向や財務状況、配当方針などを総合的に勘案し、期末配当予想を1株当たり25円00銭に修正することといたしました。

※本資料に記載されている業績予想などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成しております。実際の業績などは、今後様々な要因により大きく異なる場合があります。

以 上